

株式会社 なみき

～ファッション性に優れた豊富な商品で和装小物のトップブランド～

和装小物の草履、ハンドバッグを専門に、商品開発の企画からデザイン、製造までを自社で行う。ファッション性に加えて機能性を考えてつくられた自社ブランドの礼装用セットは、20年以上のロングセラー商品となり、デザインした4点セットを提供。ふくさやハンドバッグ、手提げ袋を用意し、とも柄の鼻緒をしつらえた草履と合わせ、必要に応じてセットの小物を選ぶ多様性に富んだ商品ラインナップを確立している。午後3時までに受注したものを翌日納品するレスポンスの良さと、きめ細やかな対応で顧客の信用を獲得し、業界トップシェアを誇っている。

創業は1960（昭和35）年、先代社長の並木陽三氏がセビアン履物株式会社を設立。現在のJRと東武東上線が乗り入れる小川町駅北側3,000坪の敷地に工場を構え、従来の手縫いの製法を接着する機械化に改革、併せてコンベアによる量産体制を整えて、事業拡大を



なみき本社兼工場

図るとともに和装業界の近代化を牽引した。1977年、株式会社なみきに社名変更。1991年、接着剤を使用する製造環境に配慮した換気、空調設備を整えた新たな本社兼工場を現在地に建築し、移転した。ちょうどバブル崩壊と重なる時期、和装業界も不況の波にもまれ始める矢先だった。

当時専務を務めていた並木行弘社長はこうしたなかで、営業経験を生かして新たな販売戦略を模索し、ブランド化を推進。自社生産の草履と協力会社で製造するハンドバッグをとも柄の4点セットにしたオリジナル・ブランド「華三彩」を商品化し、他社製品との差別化を図った。中国製品も出回り始め、和装需要が成人式や結婚式、パーティーなどの晴れ着や礼装用に絞られるなか、草履やハンドバッグも高級志向とともにファッション性が求められるようになった時期でもあった。



最上位ブランドの「世美庵」

取引先の卸売業者をはじめ、その先にいる小売業者、消費者にそれぞれ納得してもらえる“しゃべれる商品”づくりを考えた」と語る並木社長。しゃべれる商品というのは、ハンドバッグのふたの裏に化粧直し用の鏡を

つけたり、礼装用バッグを和装、洋装で兼用できるデザインにするなど、営業の際に他社製品より優れたファッション性と使い勝手の良さをアピールできる製品づくりだ。

消費者動向に敏感な営業職の発想で企画、デザインを行う手法は、1992年の社長就任後のブランド開発にも生かされ、12か月ごとに季節の花をデザインした誕生花シリーズや、近年ヒット商品となった低反発素材を使い指跡が残らないソフトフィット草履の開発につながった。グレード分けされたオリジナル・ブランドは現在、「世美庵」「華三彩」「春爛漫」「花吹雪」の4種となり、選択の幅を広げている。

しゃべれる商品づくりは本皮、合成皮革、佐賀錦、ビニロンと表装素材が多様な草履の営業でも生かされている。営業担当者が耐久性に優れたビニロン製品を説明する際、単に「強くて長持ち」を強調するだけでなく「あのルイ・ヴィトンと同様のビニロン」とプレゼンテーションすることで卸売業者が小売業者へ、小売業者が消費者へ効果的にセールスポイントを伝えられるようアピール方法も説明。商品開発に合わせて、プレゼンテーション内容を考える取り組みが、製品のイメージアップとともに営業担当者のスキル向上にも役立っている。

また、販売戦略として毎年4月に見本市を開催。ここで新商品や各ブランドの価格など



コンベア式乾燥機を取り入れた草履の製造

を提示し、顧客となる卸売業者の反応を確認している。その年の需要傾向を見極め、必要な在庫量を推し量る重要な場ともなっている。在庫管理は顧客単位でスペースを設けて保管。そうすることで日常の荷動きを把握しやすくし、より細やかな顧客サービスの提供につながるという。こうした取り組みが、卸売業者や小売業者の在庫リスクを抑え、パンフレットによる営業、販売を可能とする「なみきの看板方式」を実現した。

和装業界の昨年の年間売上高は、3,000億円余りとバブル崩壊前の7分の1にまで縮小。並木社長は「構造不況業種」と厳しく受け止める一方、情報の生かし方を力説。「訪問着や振り袖にも合う金糸、銀糸物、母と娘が兼用して使える」ものを求める消費者動向にも着目し、新商品の開発に努めている。

『オンリーワン企業を目指す」と語る並木社長。工場生産の利点をより強化するため「草履製造の4パーツを自動化したい」と機器開発を模索、さらに生産効率を高めていく考えだ。



並木 行弘 社長

企業概要 株式会社 なみき

代表者 並木 行弘
設立 1960年
資本金 1,500万円
従業員 パートを含め40人
事業内容 和装小物の草履、ハンドバッグ製造
本社 比企郡小川町青山1575-2
電話番号 049-372-1746 FAX 049-372-1479
取引店 小川支店